

➤ 伊達市では、近年木材普及の低迷や、少子・高齢化等による林業労働力の減少等から、適正な管理がなされていない森林が増加してきている。このような状況を打開し、林業の活性化を図るために、森林環境譲与税の一部を活用以下の取り組みを実施。

- ・森林資源を有効に活用するため民有林（人工林）において森林管理に関する意向調査。
- ・森林公園内及び施設周辺森林における森林環境景観整備。
- ・森林整備及び促進に必要な事業に要する経費の財源に充当するため、森林環境譲与税を基金として積立。

□ R6事業実績

森林経営管理法に基づく意向調査業務

- ・伊達市森林整備計画等の資料を収集し対象地区森林所有者に対して意向調査（地区別調査）を実施

【事業費】4,628千円（うち譲与税4,628千円）

【実績】伊達市内（霊山町石田地区）

【進捗率】27.97%（令和6年度末現在）

森林公園等環境整備事業

- ・森林公園内の環境及び景観整備等

【事業費】3,497円（うち譲与税3,497千円）

【実績】茶臼山森林整備、やながわ希望の森公園、赤坂の里森林公園

林業研修プログラム実施業務

- ・将来の林業従事者の確保のため、林業体験を通じて林業への興味関心の向上を図り森林の持つ公益的機能の普及啓発を行う。

【事業費】1,777千円（うち譲与税1,777千円）

【実績】伊達市林業フェスタ@赤坂の里森林公園

伊達市森林環境譲与税基金条例に基づく基金事業

- ・森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源に充当するため基金として積立

□ 工夫・留意した点

- ・意向調査を実施するにあたり、随意契約として、森林整備、伐採施業履歴を管理しその森林情報を活用している業者を選定し、業務の適正化、円滑化を図った。
- ・林業や森林の公益的機能の普及啓発のため林業フェスタを開催。多くの来場者獲得のためキッチンカーや木工製品の販売、体験型コーナーの設置等により、イベント性を高める工夫を行い、広く参加を呼び掛けた。

□ 取組の効果

- ・森林経営管理法に基づく意向調査の実施により、森林管理の経過、現状の把握、森林所有者の森林管理に関する今後の意向、森林経営管理権の集積に係る可能性等が明確になった。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：27,376千円		②私有林人工林面積（※1）：3,192ha	
③林野率（※1）：49.9%	④人口（※2）：58,240人	⑤林業就業者数（※2）：39人	

※1「2020農林業センサス」より ※2「R2国勢調査」より